

対馬厳原港まつり50周年

島が弾む 新たなステージへ! 50th anniversaries

花火に神輿、かき氷…。老いも若きも心躍る夏祭りの季節です。そんな中、対馬最大の夏のイベントである「厳原港まつり」が今年で50周年を迎えました。半世紀にわたり歴史を刻んできた祭りは、地域に根づいたものにしようとなつた新たなステージに踏み出しています。



昭和39年、私がまだ2歳の時に始まったのが厳原港まつり。記憶にあるのは、コーラ早飲みや浴道を沸かせた仮装行列・日焼けコンテストなどで、まさに田舎の祭りという光景です。会場も、今屋敷公園・西の浜・八幡神社・清水が丘など…。懐かしい思い出がよみがえります。昨年は、仏像問題により、30年以上祭りのメインを飾った朝鮮通信使行列を中止という決断をしましたが、50年を節目に新たな祭りスタイルを考える時期にきたのだらうと思います。

「老若男女が笑顔で参加できる」そういうお祭りであってほしいですね。そのきっかけが昨年の「よさこい」ステージです。つまそびき唄はあつという間に対馬の歌として定着し、桜雪Ma-uさ



50年目の夏を迎えて
厳原港まつり振興会会長
山本博己さん

今年が目玉はこれ!

朝起きてまず考えるのは祭りの段取り。
それから仕事です(笑)。
対馬の子どもたちに対馬で花火を見せたい!
その思いが私の原動力です。

☆今年のライブステージは対馬市赤米諮問大使の
相川 七瀬さんがやってきます!

☆昨年を上回る3,500発の花火が
50周年の夜空を彩ります!

☆子どもみこしパレードには桜雪Ma-uさんが参加!そ~れそれ~♪

☆子ども通信使行列初登場!

☆舟クロー、ビーチバレーに加えて綱引き大会も開催。
参加チーム募集中です!

☆昨年からさらにパワーアップ!
新グループ誕生のよさこいステージにこうご期待!
桜雪Ma-uさん新曲披露!!

ほかにもイベントは盛りだくさん!! 遊びに来てくださいな

祭りの裏方として支えてきたのが商工会青年部で作る実行委員会。約30名の部員は50周年を盛り上げようと、まだ寒い冬の時期から準備に入っています。毎週行われているミーティング、ステージの進行から沿道でのイベント、出店など、彼らなしで祭りは成立しません。実行委員長をとめる吉永さんに今年の見どころを紹介していただきました!

廠原港まつり実行委員長
吉永 定史さん



毎週行われている実行委員会ミーティング



地域を想うボランティアの活動が
50年の伝統を築きました

んの活躍で、子どもから大人まで「よさこいブーム」が巻き起こり、島を活気づけました。今年はさらにグループが増え、港まつりでのお披露目となります。

朝鮮通信使行列は、再開が決定しました。「去年は通信使が見れなくてさみしかった」「仏像問題が解決していないのにやるべきではない」「いろんな声をいただきます。朝鮮通信使行列の再現は「決して韓国を讃えるのではなく、宗家が日韓外交に果たした役割、歴史を人々に伝えるもの」。同時に、このような国際交流が港まつりを大きくし、地域を支えてきたことも忘れてはいけません。対馬の歴史に触れ、行列の華やかさを堪能するひとときになればと思います。50周年の今年は、対馬の子どもたちによる「子ども通信使行列」も企画しています。

国際ターミナルの建設に伴い、現在の会場でのお祭りも今年が最後。島を思う先輩方が築いてこられた祭りの歴史を、50年からさらに輝かせていきます。地域が人を育む田舎らしさや温もりを忘れず、みなさんのご来場をお待ちしています。



よさこい対馬「絆」です!!私達は昨年の4月にチームを結成し、今はメンバー8人で楽しんでます!(よさこいはダイエットに最適)対馬を盛り上げる為に、激しく力強くカッコ良く楽しくをモットーに頑張っていますので、よろしくお願ひ致します!

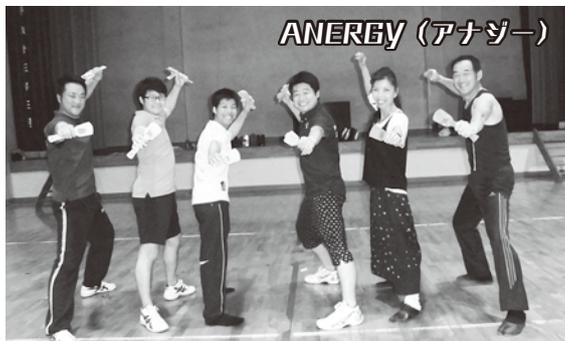


「帰蝶」というチーム名は、とある戦国武将のお姫様の名前でもありますが、人口が減るばかりの対馬にもう一度活気が戻り、対馬から離れていった人たちがいずれ対馬に帰ってきて欲しい、そんな願ひを込めてつけました。特に対馬中地区の元気に、ひいては、対馬の元気に繋がってくれば幸いです。

パワーアップしたよさこいがステージを沸かせます!
子どもたちのよさこいグループも登場予定です



私達は2012年9月15日に結成し現在、大人:35名、子ども:7名、計42名で、対馬に笑顔と元気をそびけるように、との願ひを込めて活動しています。港祭りで、新曲を披露させてもらう予定です。皆様、是非、お祭りに足をおはこびください。メンバー一同、会場でお待ちしてます(^.^)。



5月より12名で活動始めましたANERGYです。活動目標は、対馬をPRし、対馬に興味を持ってもらい多くの人に対馬を知ってもらうことです。「来てもらう」を念頭にメンバー一同がんばってます。

赤米の大使をさせて頂いて3年が経ちます。

去年、献上米として宮中に赤い宝石を届けられた事は、外から見守ることしか出来なかった私でも震えるほどの感動でした。

対馬で出会う風景、優しい人たち。いつしか私の中で対馬は特別な場所となり心のふるさとのように感じています。

今回は赤米大使としてではなく、歌手としてのお招きを頂き感謝しています。

ちんぐ音楽祭以来の対馬でのライブとても楽しみにしています。

相川 七瀬



祝50周年巖原港まつり

8月2日(土)・8月3日(日)

巖原港特設ステージ他

※詳しくはポスター・チラシをご覧ください。